

単元名

「広南起業 PROJECT」

～挑戦問題 「地域社会に貢献する起業に挑戦しよう！」～

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働 感謝・貢献

1 対象 第2学年A組 男子5名 女子12名 計17名

2 単元で目指す学び姿

「地域社会に貢献する起業」という探究的問題解決の過程を通して、働くことの意義を理解し、仕事を通して協働して地域社会に貢献したいという志と力を育てようとする学びの姿

<単元で生徒と共有する学びの姿を見取る資質・能力のルーブリック>

	資質・能力	評価	評価基準	
知識・技能	起業に係る知識・技能	S	将来、仲間と協働して起業する知識と技能と自信を身に付けることができた。	
		A	自分でも仲間と協働して起業する知識と技能を身に付けることができた。	
		B	自分でも仲間と協働して起業する知識と技能について理解することができた。	
		C	仲間と協働して起業する知識・技能を身に付けることができなかった。	
横断的・総合的な問題解決の能力	情報収集	S	プロジェクトで生じる課題の解決に向けて、様々な方法で情報を収集し、整理・分析する中で、必要な情報を活用することができる。	
		A	プロジェクトで生じる課題の解決に向けて、起業家の方の話から情報を収集し、整理・分析する中で、必要な情報を活用することができる。	
		B	プロジェクトで生じる課題の解決に向けて、情報を収集することができる。	
		C	課題の解決に向けて、情報を収集することができない。	
	判断	S	起業に向けて集めた情報からそれぞれの部門の目的に沿って整理・分析を行い、問題解決の要点をおさえた上で、自分の考えをまとめ、分かりやすく表現することができる。	
		A	起業に向けて集めた情報からそれぞれの部門の目的に沿って整理・分析を行い、自分の考えをまとめ、分かりやすく表現することができる。	
		B	起業に向けて集めた情報から自分の考えをまとめ、分かりやすく表現することができる。	
		C	自分の考えをまとめ、表現することができない。	
思考	表現	S	起業に向けて集めた情報からそれぞれの部門の目的に沿って整理・分析を行い、問題解決の要点をおさえた上で、自分の考えをまとめ、分かりやすく表現することができる。	
		A	起業に向けて集めた情報からそれぞれの部門の目的に沿って整理・分析を行い、自分の考えをまとめ、分かりやすく表現することができる。	
		B	起業に向けて集めた情報から自分の考えをまとめ、分かりやすく表現することができる。	
		C	自分の考えをまとめ、表現することができない。	
実社会における横断的・総合的な問題解決に取り組む態度	挑戦	S	プロジェクトに見通しを持ち、企画段階から自分の考えを示し、メンバーの中心となり、積極的に関わろうとすることができる。	
		A	プロジェクトの企画段階から自分の考えを示し、積極的に関わろうとすることができる。	
		B	プロジェクトの企画の段階から積極的に関わろうとすることができる。	
		C	プロジェクトに積極的に関わろうとしていない。	
	探究	S	仕事には、生計を維持するだけでなく、それを通して自己の能力・適性を発揮し、社会の一員としての役割を果たすという意義があり、そのための知識や技能を高めていくことの重要性を理解することができる。	
		A	仕事には、生計を維持するだけでなく、それを通して自己の能力・適性を発揮し、社会の一員としての役割を果たすという意義があることが理解できる。	
		B	仕事には、生計を維持するだけでなく、社会の一員としての役割を果たすという意義があることが理解できる。	
		C	仕事には、社会の一員としての役割を果たすという意義があることが理解できない。	
	責任	使命	S	仕事には、生計を維持するだけでなく、それを通して自己の能力・適性を発揮し、社会の一員としての役割を果たすという意義があり、そのための知識や技能を高めていくことの重要性を理解することができる。
			A	仕事には、生計を維持するだけでなく、それを通して自己の能力・適性を発揮し、社会の一員としての役割を果たすという意義があることが理解できる。
			B	仕事には、生計を維持するだけでなく、社会の一員としての役割を果たすという意義があることが理解できる。
			C	仕事には、社会の一員としての役割を果たすという意義があることが理解できない。
	協力	協働	S	課題解決に向け、他者の意見を取り入れたり、地域の人と連携を図ったりする中で、誰もが達成感を持つようなプロジェクトを進めることができる。
			A	課題解決に向け、他者の意見と取り入れたり、地域の人と連携を図ったりしながら、プロジェクトを進めることができる。
			B	課題解決に向け、他者とともに協力しながら、プロジェクトを進めることができる。
			C	他者と協力しながらプロジェクトを進めることができない。
感謝	貢献	S	プロジェクトを通じて、地域の多くの人に支えられていることに感謝し、家族・地域・社会に貢献することを通して、絆を深めることができる。	
		A	プロジェクトを通じて、地域の多くの人に支えられていることに感謝し、家族・地域・社会に貢献することができる。	
		B	プロジェクトを通じて、地域の多くの人に支えられていることに感謝することができる。	
		C	多くの人に支えられていることに気づかず、感謝することができない。	

【評価方法】

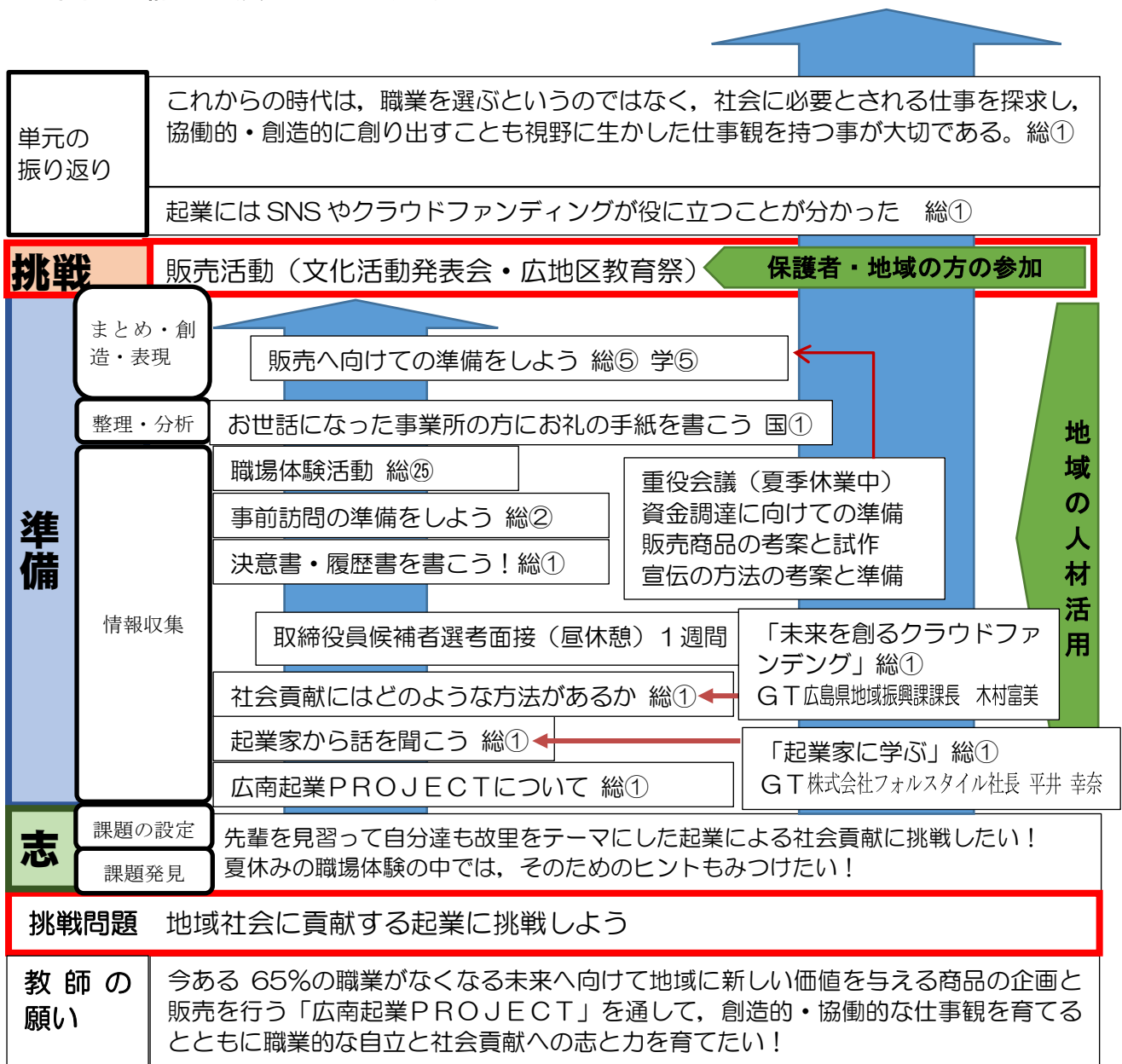
生徒には、上記の資質・能力のルーブリックを適時示し、意欲を喚起させ、単元の最後の自己評価に教師の評価を加える。(授業観察, ワークシート)

3 単元設定の理由

前単元『運命の本「仕事の魅力を伝えるプレゼン」』では、生徒が様々な職業に従事している人の著書を読み、職業と生き方という視点で自分が読んだ本について交流することにより、職業観を広げることができた。また、著書の中に「起業家」に関するものを意図的に取り入れることにより、生徒は、起業家が利潤の追求だけを目的としているのではなく、社会に貢献しようとする高い志を持っていることを知り、「起業して社会に貢献すること」に対する興味・関心を持つことができた。さらに、生徒は、地域の会社経営者から話を聞く機会があり、地域に感謝し、地域と共に生きようとする姿に深い感銘を受けた。そこで本単元では、生徒の興味・関心が高まっている「起業して社会貢献すること」を題材にした「広南起業 PROJECT」を行い、自己の能力や適性を踏まえながら、将来を自らの力で切り開こうとする実践的な態度を身に付けさせたい。

「広南起業 PROJECT」での資金集めや商品開発、広報宣伝等、これまで経験したことが無い未知なる課題に挑戦し、達成感を味わうことにより、主体的に解決していこうとする意欲を育てることができると考える。また、探究の過程で、職場体験学習等において地域の人・もの・ことと関わることにより、地域への愛着や地域の一員としての自覚が深まると考える。さらに、プロジェクトで得た利益を日本赤十字社に全額寄付することで、社会に貢献することの意義や喜びを実感できると考え、本単元を設定した。

4 本単元の構想図（貫きカリキュラム）



5 本単元の指導計画（総授業時間数 40時間）

時数	学習活動	・指導上の留意点 ★評価規準（○は「指導に生かすための評価、●は「記録するための評価）」（評価方法）
1	<p>課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 今ある職業の65%が、自分たちが大人になったときに無くなることを知り、これからの時代は、職業を選ぶのではなく、自己の能力・適性を発揮し、社会にどう貢献していくかを考えなければならないことに気付く。 「広南起業PROJECT」を通して、地域に新しい価値を与える商品の企画と販売を行う、創造的・協働的な仕事観をもち、職業的な自立と社会貢献への志と力を身に付けることで、問題解決を図ることができることに見通しを持つ。 <p>挑戦問題 地域社会に貢献する起業に挑戦しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 呉市キャリアスタートウイークについて 昨年度の先輩の取組について 取締役役員について 	<p>★【挑戦・探究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○初めての体験である起業について、その意義を理解し、困難なことに挑戦しようとする意識をもつことができる。（授業観察・ワークシート） ・資質・能力ループリックを通して単元で育つ心の力と鍛える力の資質・能力にも見通して持たせる。 <p>・次回、話を聞く起業家の概略を説明し、起業のことについて、分からないことや疑問点をまとめさせておく。</p>
2	<p>情報収集</p> <p>「起業家から話を聞こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> なぜ起業を志したのか、起業に必要なものは？ 「社会貢献にはどのような方法があるか」 クラウドファンディングって何？ 	<p>★【情報収集・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○しっかり聞くだけでなく、インタビューなどにも挑戦して知りたいことを情報収集できる。（発表・ワークシート） ○クラウドファンディングなど難しい用語について予習や質問をすることで、知りたいことをより深く情報収集できる。（発表・ワークシート）
昼休憩・放課後	<p>整理・分析</p> <p>「取締役役員候補者選考面接」</p> <ul style="list-style-type: none"> 社長、経理部・商品開発部・宣伝部の4役員を選出する。 	<p>★【挑戦・探究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広南起業PROJECTについて、意義を理解し、取締役役員として企画・立案・組織運営など、様々な困難なことに挑戦しようとする意識をもつことができる。（生徒観察） ・校長面接等を通じて、広南起業PROJECTの考えを練り上げ、リーダーとしての意欲や態度を鍛える。
1	<p>情報収集</p> <p>「決意書・履歴書を書こう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場体験で身に付けたいことや頑張りたいことを決意書に書く。また、履歴書の意味を知り、実際に記入する。 	<p>★【思考・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分が決意したことを、相手にわかりやすく表現することができる。（生徒観察）
2	<p>「事前訪問の準備をしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場体験の事前訪問に向けて電話の応対を学ぶ。 名刺に自分の決意を書く。 体験日誌についての学習 <p>〈 取締役役員会議も並行実施 〉</p>	
25	<p>「職場体験」5日間</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の活動のスケジュールについての確認 各部門の活動内容及び役割の確認 	<p>★【責任・使命】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●体験の中で自分の役割を自覚し、責任をもってやり遂げることができる。（生徒観察・キャリアスタートウイーク体験日誌）

	<p>「お世話になった事業所の方にお礼の手紙を書こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験日誌の提出 ・今後の活動内容について ・職場体験のまとめ新聞をつくる 	<p>★【感謝・貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体験で学んだことに対しての感謝の気持ちを表し、今後の起業プロジェクトの準備に生かしている。
夏季休業中	<p>「重役会議」</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆社長， 経理部 資金調達に向けての準備 プレゼン資料の作成 ☆商品開発部 販売する商品の選択， 試作制作， 決定 ☆宣伝部 宣伝の方法の考案と準備 HP， Facebook 等のデータ作成準備 	
8	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>「販売へ向けての準備をしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各部門での準備に取り組む。 ☆社長， 経理部 資金調達に向けての準備と実践 <ul style="list-style-type: none"> ※小・中学校の先生方から資金集めためのプレゼン資料を作成する。 ※各部の活動内容と進捗状況を把握し、今後の方向性を確認する。 ※寄付についての方針を整理する。 ※文化活動発表会での報告のための資料を作成する。 ※ポスター製作 ※予約販売のための広報準備 ☆商品開発部 販売する商品の選択， 決定 <ul style="list-style-type: none"> ※グループごとに制作準備をする。 ※業者との連携や商品開発を進める。 ※職場体験で、販売のノウハウを学んだ生徒が講師となり、全員に伝え、練習を行う。 ☆宣伝部 宣伝方法の考案と準備 <ul style="list-style-type: none"> ※CMづくり ※HP， Facebook 等で宣伝を行う。 ※保護者、地域への宣伝活動を行う。 <p>実行</p> <p>「販売活動（文化活動発表会・広地区教育祭）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化活動発表会や広地区教育祭で、これまで各部門で準備してきた経過について、報告し、企画した商品を販売する。 <p>「社会貢献活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収益金を活用した貢献方法について、みんなで話し合って決める。 ・収益は、全額寄付する。 	<p>★【情報収集・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各部での役割から課題を設定し、それを解決していくために、必要な情報を収集できる。（授業観察・ワークシート） <p>★【思考・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各部で収集した情報を整理・分析し、課題の解決に向けてしっかり考えることができる。（授業観察・ワークシート） <p>★【責任・使命】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ルーブリックの「責任・使命」の基準を確認し、各部門での自分の役割を自覚することができる。（授業観察・ワークシート）
1	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末の振り返りをルーブリックと自由記述で行う。 	<p>★【感謝・貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●これまで起業プロジェクトで取り組んできたことやこれから販売していく商品について、説明し、販売できる。（生徒観察） <p>★【情報収集・判断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本赤十字社やクラウドファンディングでの活動を調べ、適切な寄付先を決めることができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーブリックの項目の自己評価を行い、自己の資質・能力の成長を確認させる。 <p>★単元ルーブリック</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教師の評価はワークシートと発表をもとに学年団で行い、肯定的なコメントもつける。 	

6 本時の学習（32時間目／全40時間）

(1) 本時の目標

各部のこれまでの仕事内容と今後について報告し、各部の課題解決に向けて、協働しながら作業を行う。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（ <u> </u> ）	評価規準 資質・能力（★） （評価方法）
<挑戦問題の確認>		
挑戦問題「ふるさとに貢献する起業に挑戦しよう」		
<p>1 課題意識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部のこれまでの活動の報告を行う。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 挑戦問題にそった各部の報告を行わせるため、事前に各部長と入念に打合せしておく。 	
めあて「販売へ向けての準備をしよう」		
<p>○社長、各部長から、これまでの取組の経過と今日の作業についての説明を行う。</p> <p>3 各部の取組を行う。</p> <p>☆社長，経理部</p> <p>○集めた資金を表に整理し，確認する。</p> <p>○発表プレゼンをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組の経過に合わせて，写真を選ぶ。 スライドの流れに合わせて，発表原稿をつくる。 発表の流れを確認する。 <p>☆商品開発部</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品を仕上げる。 販売ブースの案を考える。 <p>☆宣伝部</p> <ul style="list-style-type: none"> CMづくりに向けて，考えてきた演技（コント）を整理し，完成させる。 踊りの練習を行う。 <p>4 各部の報告を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまでの実践に自信をもって取り組むように，教師による声かけも行う。 事前にメモにまとめておいた取組の経過について，確認させ，それをもとにスライド資料を作成させる。 販売については，お客様の目線で考えることを伝える。 自分たちの演技（コント）をビデオで撮影し，視聴しながら自分たちで課題を見つけ，改善させる。 <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>生徒の発表例</p> <ul style="list-style-type: none"> 社長，経理部では，文化活動発表会当日の報告をパワーポイントでまとめ，リハーサルを兼ねて紹介する。 宣伝部では，当日の踊りを披露する。 商品開発部では，販売ブースの案や販売の注意事項を報告する。 </div>	<p>★【思考・表現】 （授業観察・ワークシート）</p> <p>S 各部で収集した情報を整理・分析し，課題の解決に向けて新しい提案や行動をすることができた。</p> <p>A 各部で収集した情報を整理・分析し，課題の解決に向けて行動することができた。</p> <p>B 各部で収集した情報の整理・分析から，課題を把握することができた。</p> <p>C 各部での課題を把握することができなかった。</p>
<p>5 文化活動発表会に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> この取組で身に付ける資質・能力の基準を再度確認し，見通しを持たせる。 	